

あしがき

この記録誌は、平成 30 年 7 月豪雨災害の経験から得た教訓を基に、熊野町における防災・減災まちづくり、熊野東防災交流センターのプロジェクトの進め方、安心できる防災拠点の考え方から設計のプロセスを地域や世代を超えて後世に伝え、また、読み手が防災・減災への意識向上に繋がることを目的に作成しました。

この災害でいかに地域コミュニティが重要であるか再認識させられ、避難所の在り方（ペット同行避難・乳幼児世帯への配慮）や地域コミュニティの醸成を図る施設がどうあるべきか、災害復興の中で多くの有識者や関係機関の皆様からご意見、ご指導をいただきながら事業を進めてきました。

これからの日本は、少子高齢化、地球温暖化に伴う異常気象等、様々な社会問題を抱えており、厳しい現実直面することになります。これまで熊野東公民館で育まれてきたコミュニティを活かし、新たな施設、「熊野東防災交流センター」で更なる地域コミュニティの活性化と賑わいが創出され、地域のみんなでともに支え合う「共助」の意識が醸成されることを深く願っております。

最後に記録誌の執筆に携わって頂いた皆様、当施設の工事に携わって頂いた皆様に改めて感謝を申し上げます。

共著者

第 1 章「熊野町における防災」	広島大学大学院 田中貴宏教授、熊野町
第 2 章「プロジェクトの進め方」	東北大学大学院 小野田・佃研究室 (担当：鈴木駿、吉澤菜々、羽田光、伊藤成美、成田知里、竹谷亮平、尾崎景星、荒井亮) 協力：山本理顕、村上徹、乾久美子、藤本壮介、宮本佳明、高池葉子、広島県土木建築局営繕課、 熊本県土木部建築住宅局建築課くまもとアートポリス班、新井久敏
第 3 章「安心できる拠点へ」	大西麻貴 + 百田有希 / o + h
コラム及び編集	大旗連合建築設計事務所 和泉有祐

写真撮影・提供、図版提供（図版番号表記 図 n）

参照等の記載のないものは熊野町及び広島県提供資料

- ※ 1 熊野町都市計画マスタープラン
- ※ 2 東部地域防災センター（仮称）建設予定地における平成 30 年 7 月豪雨災害被災状況調査報告書
(広島大学防災・減災研究センター 田中研究室)
- ※ 3 p43~p55 における図版はプロポーザル提出書類より参照
(大西麻貴 + 百田有希 /o+h、乾久美子建築設計事務所、高池葉子建築設計事務所、宮本佳明建築設計事務所、藤本壮介建築設計事務所)